

金堂
Kondō



伽藍の中核を成すものを金堂といいます。
青森天然ヒバを資材とした本格的仏教建築で本尊は大日如来。
法話会や各種祈願、供養法会などの年中行事が執り行われます。

開山堂
Kaisandō



開山主、隆弘大和尚の尊像をお祀りするお堂です。
隆弘大和尚は昭和五十九年昭和大仏を建立し、弘法大師の教えを正しく伝える為、正純密教の布教に尽力されました。

高野山青森別院
大師堂
Daishidō



宗祖弘法大師をお祀りするお堂です。
写経会や各種祈願、供養法会が執り行われます。
（津軽大師霊場第十六番札所）

●青龍寺の伽藍

青龍寺は昭和五十七年に創建されました。
昭和大仏や五重塔は、決して観光仏とか大きさを誇るものではありません。開基織田隆弘師の
―伽藍が
無言の説法をする―
という信念のもと、お参りされる人々の心を癒し正しい心へと導く一大霊場として、豊かな自然の中に昭和大仏、金堂、五重塔、開山堂、大書院、大師堂など荘厳な伽藍が整えられました。伽藍の多くは天然青森ヒバを使用しております。
青森の僧侶が発願勧進し、青森県民を始め全国から寄せられた浄財により、青森の名木である天然ヒバ材を用い、青森の名工、大室勝四郎棟梁が技を尽くして出来上がったのが青龍寺の伽藍です。
日本美術をこよなく愛したフェノロサが奈良薬師寺の東塔を「凍れる音楽」と評したように、伽藍には見るものを魅了する何ものかがあるのです。
そしてその根本にあるのは仏の教えです。雑念を離れ、心を静めて伽藍の声に耳を傾けて下さい。

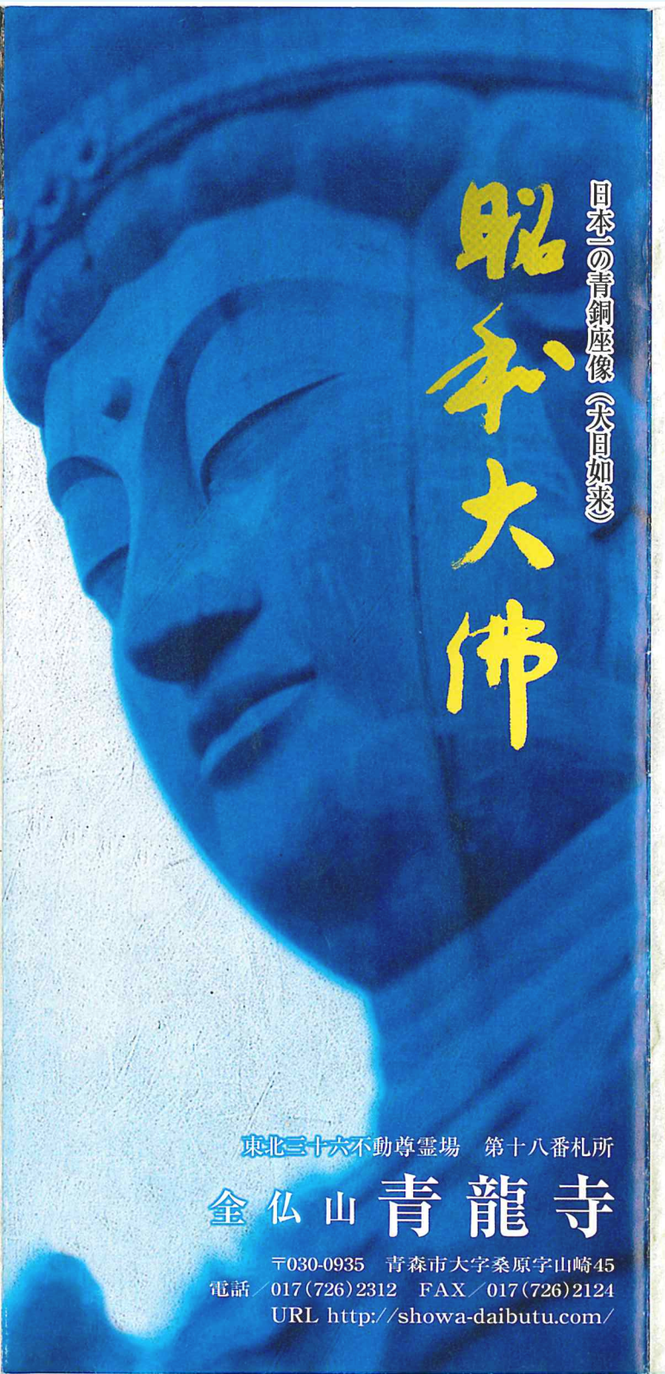


五重塔

境内の森を背景に屹立する五重塔は仏教の精神美を表現し、青い森、青い海、青い空の自然美と調和して人々の仏性に一層の輝きを与え、正法の道しるべとして、子孫の宗教心の涵養に役立つことを期待して建立されました。



五重塔建立概略
用材／青森天然ヒバ二千百石
間口／四間
総高／三十九・五メートル
工期／平成四年春・着工～平成八年秋・完成
設計・施工／大室建築（大室勝四郎棟梁）

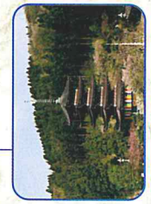


東北三十六不動尊霊場　第十八番札所

金仏山 青龍寺

〒030-0935　青森市大字桑原字山崎45
電話／017(726)2312　FAX／017(726)2124
URL http://showa-daibutu.com/

●青龍寺境内ご案内図



■堂内拝観可


■堂内拝観可





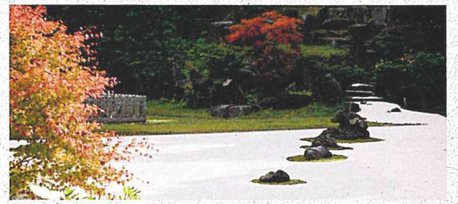




■胎内拝観可（1F、2F）

枯山水庭園　忘帰庭

Bōkitei





林泉酔我一入忘帰

弘法大師は高雄山神護寺（京都）の大自然に囲まれた修道生活に魅せられた様子を親交のあった唐招提寺の如宝に宛てて右の如くしたためています。

金堂と五重塔の間に広がり、稲山の自然と調和した枯山水庭園「忘帰庭」はこの書簡に依って名づけられました。

日々の喧噪を離れ忘帰のひと時をお過ごし下さい。

枯山水庭園　酔我庭

Suigatei







林泉我を酔わしめ
一たび入って
帰るを忘る

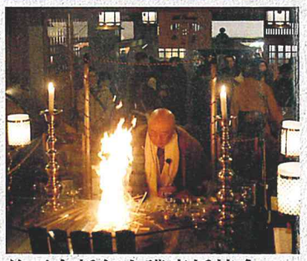
空海如宝宛書簡

中門から青龍寺伽藍へと続く石段の東側に広がる景色は、青森県を代表する自然美を誇る十和田湖とそこから流れ出る奥入瀬の荒々しい「阿修羅の流れ」と穏やかな「石ヶ戸の瀬」をイメージした枯山水です。稲山を借景としたこの庭園は「酔我庭」と名付けられました。

年中行事



盂蘭盆万灯会 8/13～8/16



修正会新年大護摩祈祷会

中門



青龍寺への入り口となる中門には、持国天・増長天・広目天・多聞天の四天王が安置され、東西の妻壁には四神（青龍・朱雀・白虎・玄武）の見事な彫刻が施されています。

扁額の文字は「虚往」「実帰」。「虚しく往きて」「実（み）ちて帰る」。悩みを抱えた者が仏の御光に接して、心安らかに満たされて帰るという意味。



朝座禅と粥朝食



写経会



専用写経道場



護摩祈祷

交通アクセス

●市営バスをご利用の方は、青森駅より「昭和大仏行」又は「桑原行」終点下車
●青森駅又は浅虫温泉よりタクシーで20分
●青森空港よりタクシーで約30分
●東北自動車道青森東インターより車で5分

参拝料

（団体15名以上は、大人350円、小人150円になります）
●大人（大学生以上）　400円
●小人（小学生以上）　200円

開山時間（年中無休）

●4月～10月　午前8時30分～午後5時
●11月～3月　午前9時～午後4時

無料駐車場300台収容可

●ご案内図



昭和大仏胎内拝観　一代守り本尊巡り

Showa-Daibutu

昭和大仏

昭和五十九年に造立された日本一大きい青銅座像仏（大日如来）。

高さは奈良や鎌倉の大仏をはるかにしのぐ二十二・三五メートル。青森の天然ヒバを資材とした金堂と五重塔は東北でも屈指の本格的な仏教建築。美しい自然にたたずむ大仏や、伽藍は安らぎを求めて訪れる人を優しくつつんでくれます。



供養～感謝の心を捧げる～

先祖や亡き御霊を弔うことは古来より受け継がれてきた大切な行事です。

生命のルーツに想いを致し、感謝の心を捧げて菩提を弔うことにより私たちもまた癒され、豊かな心を育むことができるのです。

当山では回忌法要、永代供養、先祖供養、水子供養を随時承っております。

祈願～仏の加護をいただく～

ご本尊の宝前で一心に祈り、仏の加護とともに迷いや災難に打ち勝つゆるぎない心を頂きましょう。

当山では厄除け、交通安全、病気平癒など各種祈願を随時承っております。



子年
千手観音



丑、寅年
虚空蔵菩薩



卯年
文殊菩薩



辰、巳年
普賢菩薩



午年
勢至菩薩



未、申年
大日如来（昭和大仏）



酉年
不動明王



戌、亥年
阿弥陀如来